



第4回定例会

No. 152の主な内容

- 2面 代表質問
- 3面 一般質問
- 4・5面 一般質問・委員会の主な活動から
- 6面 議案の審議結果と主な内容
- 7面 傍聴アンケート・千代田区への視察
- 8面 都心6区区民大会アンケート結果

ホームページアドレス
http://www.city.chiyoda.tokyo.jp
メールアドレス
ckugikai@mint.ocn.ne.jp

*この区議会だよりは、千代田区ホームページでもご覧になれます。
また、区議会へのお問い合わせや情報公開条例に基づく開示
請求は、電子メールでも受付しています。どうぞご利用下さい。



みんなでいっしょにおめでとう！（千代田幼稚園）

ごあいさつ



千代田区議会議長
石渡 伸 幸

皆様、明けましておめでとうございます。
区民の皆様には、日頃より区政に対し、深いご理解とご協力を頂き、厚くお礼を申し上げます。
昨年は、コンピュータの2000年問題に明け、有珠山や三宅島の噴火、地震の発生、東海地方の豪雨などによる自然災害や少年犯罪の多発など、暗い

ニュースがあり、一方、興奮と熱気に包まれたシドニー・オリンピックが開催されるなど様々な出来事がありました。今年こそ、明るい話題に満ちた、区民生活に笑顔が戻る年になるようお願い、21世紀は、先人が嘗々と築きあげた豊かな日本文化を継承するとともに、世界中のすべての人々が平和で暮らすことのできる社会が構築されるよう望むものであります。

さて、区議会では、本区の最重要課題である定住人口の回復をはじめ、自治権の拡充、福祉施策の推進、地域経済対策、防災対策など重要かつ緊急な諸課題の解決に向けて、全力を傾注しているところであります。

とりわけ、昨年の4月には、長年の悲願でありました特別区制度改革や地方分権が実現し、本区は名実ともに基礎的自治体としてスタートしました。これからも、自主・自立と自己責任の伴った千代田区政を築くため、一層の努力をしまいにあります。

さらに、昨年10月の「固定資産税・相続税の大幅軽減を求める都心6区区民大会」につきましても、区民の皆様方のご理解・ご協力を頂き、成功裡に終了することができました。心より感謝と御礼を申し上げます。固定資産税・相続税の減税につきましても、引き続き、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

また、区民の知る権利を保障するとともに、議会活動について説明する責務を果たすため、区議会独自の情報公開条例を制定し、昨年11月から施行いたしました。今後とも、より一層区民の皆さんとの信頼関係を高め、区民とともに歩む民主的な議会運営の確立に努めてまいります。

私も区議会は、輝かしい21世紀に向かって、本区の大きな躍進をめざし、執行機関と一体となって、山積する区政課題の解決に全力で取り組んでまいります。引き続き、区民の皆様の一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

第4回定例会

平成12年第4回区議会定例会は、11月29日に開会しました。

初日の11月29日には、区長の議会招集挨拶の後、3会派が代表質問を行いました。

11月30日は、5議員が一般質問を行った後、区長から「区営水道橋住宅新築工事の請負契約について」等10件の議案が提案され、委員会に審査を付託しました。

12月4日は、「第三次長期総合計画基本構想素案（修正案）」について、3常任連合審査会を開催しました。

最終日の12月8日には、委員会審査が終了した議案10件について、すべて可決した後、陳情2件を採択し、議員が提案した「私学助成の拡充を求める意見書」等4件を全会一致で可決し、10日間の会期で閉会しました。

新たな気持ちで、議会活動に取り組んでいきます。
千代田区議会議員一同

石渡伸幸	大串博康	市川宗隆	桜井ただし	
福山和夫	竹田靖子	松本佳子	萩原秀夫	小林やすお
大宮正義	山田ながひで	高山はじめ	小枝すみ子	久門治人
木村正明	高橋のりお	寺沢文子	小枝すみ子	久門治人
満勉昭一	鳥海隆弘	戸張孝次郎	萩生 誠	
鈴木栄一	鎌倉つとむ	中村つねお		

代表質問

(要旨)

自由民主党議員団

高山 はじめ

介護保険について

問 利用者の保護とサービスの向上を図るための第三者機関としてのオンブズパーソン導入の検討状況は、事業者の参入の確保は、介護サービスの評価制度にどのように取り組み、どういう仕組みを考えているのか、本当に行政の手助けを求めている区民に対する保険料や利用料の減額について現時点での考えは。

答 「介護保険運営協議会」に諮問し、設置すべき答申を受けている。不足サービスの事業者の参入促進方策を検討。サービス内容を比較する手法と利用者への情報提供を検討。生活に困窮された区民に配慮することは重要。保険料・利用料について負担軽減方策を検討していく。

家電リサイクル法への対応について

問 家電リサイクル法が対象とする家電4品目は現在、区の粗大ごみ収集の対象となっており、法の施行に伴い、これをどう扱うのか。家電4品目を区の粗大ごみ収集から除外したときに、小売店に引取り義務のないものについて、どう対応する考えか。区は、「家電リサイクル法」施行に伴う区民への周知を、どのように行っていくか。区は不法投棄対策をどのようにしていくのか。

答 ごみ収集の対象から除くことを検討。区民に支障がないよう、一般廃棄物処理業者による受け皿整備を進め、小売業者ルートの補完を図りたい。広報千代田をはじめ、多くの手法で繰り返しPRしていく。また、広域的なPRを23区協力して効果的に実施。区民、事業所へのPRを徹底。パトロール強化等現場での対応策も必要と考える。

スクールカウンセラーの充実について

問 今日、様々な問題を引き起こす誘因となっている子どもたちの心の問題を、家庭・地域・学校が連携して解決していくために、専門のスクールカウンセラーの配置をさらに充実すべきではないか。

答 平成11年度から「教育相談専門員」を各学校に派遣。来年度の国の公立中学校へのスクールカウンセラー配置制度に、区独自の制度を連携させ、充実していく。

日本共産党区議団

木村 正明

木村区政の90年代の流れを問う

問 国が区民に痛みを押し付けているとき、痛みを和らげることは区の責務であるが、行財政効率化の推進による区民への負担増と給付減は不況にあえぐ区民の生活苦に拍車をかけたのでは。まちづくりの中身を大規模開発と国際都市づくりから生活基盤づくり中心へ方向転換すべき。

答 社会経済状況の変化に適切に対応するために健全財政を堅持するよう内部努力している。適正な負担をお願いし、区民福祉のさらなる向上を目指す。いろいろな立場の区民等に配慮したまちづくりの研究を進めていく。

第三次長期総合計画基本構想案について

問 基本構想案がめざす「行財政効率化」は、福祉・教育・住宅のいずれも一層のサービス後退と住民負担の増大になるのでは。投資的経費が財政を圧迫しつつあるが、常磐新線や大規模再開発への投資を見直しては。

答 施策全般にわたる見直しを行い、区民福祉の向上を図る必要があると考える。いろいろな立場の区民等に配慮したまちづくりに向け研究を進め、実施主体や方法等、具体的な課題を検討していく。

党区議団が実施した

区民アンケートをふまえた緊急提案について

問 今定例会に先立ち、区民を対象にアンケートを実施した。そこで区民の声をふまえ緊急提案として、介護保険の保険料等の減免申請手続は簡素に、審査は申請者の立場にたったものにすべき。生活保護の申請書を窓口において。また、ケースワーカーの体制を抜本的に強めては。高齢者福祉手当の段階的削減計画を凍結しては。区民の置かれた現状に基づき定住支援福祉家賃助成制度の拡充を。

答 利用料や手続について検討していく。申請書設置も含め、相談者の立場で窓口対応を鋭意検討する。福祉施策の大きな転換の中で実施したもので、今後、在宅サービス施策の充実を努める。都の制度よりも対象や助成額が充実した内容であり、緊急的な対応等を主眼としている。

拓く会議員団

荻原 秀夫

障害者が地域で暮らせるための施策について

問 障害を持つ人も持たない人も、ともに地域の中で暮らすというノーマライゼーションの理念の実現が求められている。遠く離れた施設ではなく、地域で暮らせる障害者施設の整備と施策の充実が不可欠。老朽化の進んだ福祉作業所をはじめ、施設整備計画を具体的に明示すべき。

答 社会の状況変化に応じた福祉施策の充実、障害者のニーズを反映した施設整備等の取り組みが必要と認識。第三次長期総合計画の中に位置付け、着実に検討していく。

商店街振興について

問 景気の低迷や消費不況等により商店経営は危機に直面している。商店と商店街の振興は、経済対策や地域防災等の観点からも重要な課題であるが、区の支援姿勢は。都は、21世紀商店街づくり振興プランの中間のまとめを発表。その中で「コミュニティービジネス戦略」の方向性を示しているが、区としての評価は。また、方向性の一つとして示している「エコマナー戦略」を、区でも活用しては。

答 商店等への情報提供や相談、融資等を行うとともに、国や東京都と連携し、魅力ある商店街づくりを支援していく。都のプランを商店会に情報提供し、相談しながら支援していく。また、エコマナーについては区内共通商品券の活用を含め、商店街連合会と十分協議し検討していく。

千代田区の資源循環型社会構築への取り組みについて

問 資源循環型社会の構築のためには、区民・事業者を含めた広範囲な取り組みが必要。そこで、区内のゴミの96%を排出している事業所及び区民に対し、ゴミ排出削減の協力要請・指導を行う。節約やリサイクル等の意識啓発は子供の頃から教育が重要であるが、区の取り組みは。清掃事業は行政と地域がともに連携し取り組むべき。

答 事業所には講習会の開催や情報の提供を行い、区民には、「ごみのてびき」を配付する等、資源循環型都市の実現に努めていく。清掃工場見学やアルミ缶回収活動等の実践を通じた環境教育を推進していく。区と地域が意見交換を行い、普及活動を行う等、ともに取り組んでいく。

一般質問

(要旨)

自由民主党議員団 戸張孝次郎

区をはじめ官公庁からの配布物と

町会の関係について

問 先日の区政懇談会では、町会に対して、区やその他官公庁の配布書類が多く、必要最低限にして欲しいとの要望があった。町会では人口減によって少ない役員が配布物を持って余している。千代田区民世論調査では、区からの情報収集として広報千代田は関心が高く、区のチラシ等は関心が低かった。そこで、チラシ等は、広報千代田と包含して発行しては、また、出張所職員等が出向き配布しては、区民と行政の双方向からの情報交流が強く求められているが、区民と血の通った情報の共有化を一層図る必要があるがどうか。

答 配布物は、必要最低限となるよう庁内にも周知徹底し、広報千代田の内容拡充に努めていく。また、他の官公庁にも要請していく。ホームページ等の多様なメディアを用い、今後区民と情報共有化に努める。

福祉作業所の整備状況について

問 社会全体では、バリアフリー化が進み、暮らしやすい街づくりに取り組んでおり、障害者の問題は、地域全体で助け合っていくことが必要。福祉作業所は、利用者の高齢化や建物の老朽化によりトイレ等が使いづらくなっている。使いやすく、働きやすい環境にするためにも早急な移転整備の必要がある。

答 利用者や保護者の切実な要望は認識している。施設整備は施策展開の拠点となるものであると考え、具体的な計画を進めていく。



よーし、ほくもがんばろうっと

自由民主党議員団 桜井 ただし



さあ、みんな行こうよ！

自由民主党議員団 桜井 ただし

増え続けるカラスとごみ問題について

問 カラス問題の検討と対策のため東京都野生物対策連絡会を発足したが、区への連絡は、有楽町駅前、神田駅前地区で飲食店街を対象にごみの早朝収集を行っているが、その評価と今後エリアを広げたい考えは、一部の地域で防鳥ネットを使用しているが、区民への周知は十分か。カラスは視覚によってごみを漁る事から、ポリバケツの利用、ごみ出しのルールの徹底等工夫すべき。カラスによる被害対策として、公園にはふたが付いた横入れのごみ箱を設置すべき。

答 情報提供と協力依頼を受けている。カラスが少なくなった。「通勤の時間帯にごみがなく気持ちよい」等の声がある反面、「時間が早すぎてごみが出せない」等の意見があった。また、区民の要望をうかがい、エリア拡大を検討。ごみ集積所のスペースやネットの維持の問題等があり、今後さらに区民へのPRを徹底。特に事業者に対しては食品衛生講習会等でルールの徹底を強化。容量や数も含めて適切なごみ箱を設置し、快適な公園利用に供したい。

区民斎場について

問 区には現在、千代田万世会館があるが、遠くに行きづらく、会葬者に不便をかけるため、利用できない等の悩みも聞かれる。第二の斎場設置について、区の考えは、

答 設置には十分な検討が必要。当面、区民集会室等での斎場的な利用を、区民の声を聞きながら検討していく。

自由民主党議員団 松本佳子

幼児教育の中の道徳教育について

問 幼児期における「心の教育」の重要性は再三触れてきた。文部省の具体的な指導のあり方は家庭教育を推進するために様々な機会をとらえて言われている。本区においても早急な対応をすべきではないか。

答 家庭はもちろん、学校、地域において徹底した教育が必要であり、子ども、家庭に関するあらゆる問題に対応し、適切な支援をしていく。

地域に開かれた幼稚園・学校の具体例について

問 学校施設の夜間利用を積極的にすべき。学校図書館の利用を充実すべき。学校等の施設の教材や教具を共通利用等にすべきと考えるがどうか。

答 夜間利用も含め休日等も有効に活用している。今後も地域住民の利便性を考えていく。環境整備の充実に努める。貴重な教育財産を有効活用していく。

幼・保の特徴を生かした

運用と就学前教育について

問 幼稚園・保育園の特徴を認識し合い、より良い乳児・幼児の成長を図るべきと考えるがどうか。また、就学前の教育をどのように指導しているのか。

答 地域や保護者の実情に応じ、幼稚園と保育園が連携・協力し保護者の子育てを総合的に支援していく。また、関係部局と幼稚園、保育園の在り方を検討していく。



みんなで作ったポップコーン

公明党議員団 大串博康



うーん、どうしようかなー

「ゆとり」と学力向上の

バランスをどう図るのか

問 平成14年度から新学習指導要領により授業時間も3割減となる。学力低下が懸念される反面、そこから生じるゆとりにより、総合的な学習が新設される。区はどのようにこのバランスをとり、学力向上を図るのか。

答 学習内容と学習指導方法の両面の改善により、ゆとりと学力向上のバランスを図っていくべきと考えている。

「ゆとり」と「自由化」に対する

家庭・地域社会の備えはできているか

問 地域が教育を理解し、自主的に教育に関わっていくことが地域の教育力であり、備えである。子どもを中心に、家庭、地域社会、学校が教育の目的を共有していくことが重要であると考えているがどうか。

答 教育委員会として、学校とさらに連携し、教育力向上の支援や家庭・地域社会への働きかけを行っていく。

学校の裁量権の拡大、自主的な運営方法は

問 国の一元管理から学校ごとの裁量権の幅を広げる教育の地方分権を迎え、区は特色ある教科・学校づくりと、子供の多様性と自主性を尊重した学校運営を行うべき。

答 学校管理運営規則を改正し、校長の裁量権を強化。また、毎年研究奨励校を指定し、特色ある教育活動の開発に努めていく。

日本共産党区議団 福山和夫 首相諮問機関報告書

「21世紀に向けての社会保障」について

問 社会保障制度を持続していくために高齢者へ負担増を求めるといふ報告書の基調が、21世紀の社会保障として相応しいといえるのか 国民健康保険や介護保険では、被災、失業者の方が、わずかな預貯金等を理由に減免対象外となる。預貯金要件の見直しをすべき 大企業の保険料負担の増、所得等に応じた応能負担からの改革が必要では。

答 給付と負担のバランスのとれた制度としていくことが大切 今後現要綱に基づき運用、経済的困難者対応は検討課題 時代変化に対応し、皆で支えていくことが大切

健康保険法及び医療法等改正案について

問 70歳以上の医療に1割負担を導入する等、負担を押しつける法「改正」の区民への影響は 国保事業会計や老人保健特別会計にはどう影響するのか。

答 健康保険法の改正により、負担増、全国平均は月830円増となる見込み 医療給付費や高額療養費等で減の見込み

目前に迫った都営バス路線短縮・廃止について

問 路線存続の要望等、都への働きかけの結果は 通院に不可欠な地域ニーズの認識は 公共負担路線を検討しては。

答 計画の再度の見直しや代替交通機関の紹介等を要望 一定の利用者があることを認識 風ぐるまの活用を検討していく。



ヤッター、当ったー！

委員会の主な活動から

定例会活動報告

常任委員会

企画総務建設委員会

委員会では、「千代田区議会議員及び区長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例」をはじめ4件の議案の審査を行いました。

「区営水道橋住宅新築工事の請負契約について」は、区営水道橋住宅新築工事の請負契約を締結する案件で、「千代田区議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」の規定に基づき区議会の議決を要するものです。

区立水道橋住宅については老朽化が進み、居住水準・居住環境の向上を図るため、区営水道橋住宅として新築工事を行うものです。工事場所は千代田区三崎町二丁目22番12号、本体建築工事の概要は、鉄筋コンクリート造7階建、建築面積は45・17㎡、延床面積257・08㎡となっています。各階の施設構成は、1階が集会室、受水槽ポンプ室、駐輪場等、2階から7階までが住宅43戸となっており、工期は契約締結日の翌日から平成14年5月31日までです。

契約金額は5億9745万円、契約の相手方は、ナカノ・パウ建設共同企業体で、構成員は代表者が株式会社ナカノコーポレーション、他の構成員がパウ建設株式会社千代田支店、平成12年度の「土木費」並びに平成13年度及び平成14年度の債務負担行為として予算措置をされています。

契約方法は制限を付した一般競争入札で、公共工事に係る入札・契約の公平性・透明性・競争性を確保するため、予定価格の事前公表を行ったとのことです。

主な質疑は次のとおりです。
今回の契約にあたっては制限を付した一般競争入札を行ったことだが、具体的にはどういう制限を付したのか、との質疑に対し、
建築工事の登録業者のうち、「千代田区における

受注機会増大のための共同企業体に対する建設工事の発注取扱要綱」に従い区内業者とし、第1順位についてはA格に該当する30位以下の業者のうち、官公庁実績6億円以上または、民間実績10億円以上のもの。第2順位はB格に該当し、官公庁実績6千万円以上または、民間実績1億円以上としたことが概ねの制限内容である、との答弁がありました。

これに対して委員から、第1順位をA格の業者で30位以下とした根拠は何か、との質疑に対し、過去に行った制限付き一般競争入札の中から、今回と同規模のものを参考に業者選定委員会30位以下の業者とすることに決定した、との答弁がありました。

さらに委員から、制限を30位以下としたこと自体には明確な根拠がなく、基準としての客観性に疑問がある。第3回定例会における（仮称）麹町二丁目公共施設の契約議案においても、議会として今回と同様の指摘をしており、区民にとって明確な基準に基づき入札を行うべきである、との意見・指摘がありました。

これに対して、今回の契約議案については第3回定例会での議論を踏まえ提案したものであるが、制限を付した事項等については、いまだ十分な内容には至っていないと理解している。契約の最終到達点は一般競争入札であると認識しているが、現状では業者の履行確認を含む一定の制限を付することは、やむを得ない状況にある。今後はどのような制限を付するかについて、第3回定例会における議会の意見・指摘を踏まえ、適宜、検討経過を議会に報告しながら、公平性・透明性・競争性を深めるため、客観性の高い発注方式を検討していきたい、との答弁がありました。

また、企画総務建設委員会に付託された「職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例」の審査にあたっては、福祉に関連する条例の一部改正が含まれるため、保健福祉委員会と連合審査会を行いました。

その他の議案の審査についても、精力的に審査を行いました。
また、陳情審査では、「私学助成の拡充を求める意見書採択に関する陳情」、「東京地方・高等裁判所の裁判官の増員に関する意見書の採択を求める陳情」を採択しました。

保健福祉委員会

委員会では、「千代田区青少年問題協議会条例の一部を改正する条例」をはじめ2件の議案の審査を行いました。

「千代田区立高齢者在宅サービスセンター条例の一部を改正する条例」は、在宅で支援を必要とする高齢者及びその介護者等の福祉の向上を図るため、一番町に次ぎ西神田に設置される高齢者在宅サービスセンターの管理運営について、必要な事項を定めるもので、平成13年3月1日から施行します。

主な質疑は次のとおりです。
利用料は一番町と変わらないが、一番町には入浴施設が設置されていたり、施設内の調理場をつくられた昼食等が提供されているが、西神田はどうなのか。また、高齢者センターで実施されているデイサービスとの違いは、との質疑に対し、
西神田はスペースの関係で入浴施設や調理場はないが、シャワー室が設置されている。通所介護施設の基準ではシャワー浴という位置づけがあるので、介護報酬の中で実施するかどうかは、運営しながら検討していきたい。昼食については、介護指定施設であっても昼食を外から調達することは可能であるので、利用者の好みに応じたメニューづくりができる業者を選定していきたい。また、高齢者センターでの事業については、虚弱・引き籠もりの方が利用し、送迎サービスはなく食事サービスを中心に実施している。西神田が順調に運営されれば順次移行する形を取りたい、との答弁がありました。

また、利用者がデイサービス事業の中で、遠足や工作を行うなど、生き甲斐をもって1日を過ごしてもらったための個別プログラムは組んでいるのか。また、これら事業の材料費などの実費については、現行の介護保険制度では徴収をしてもよいというが、区では徴収しているのか。実費を徴収するとなると、状況によって、参加したくても参加できない状態が出てくるのが予想され、利用者の自立的な活動への要求を阻害することになるのではないか、との質疑に対し、
介護保険の指定事業所は、運営規定を事前に提出し、個人にあったプログラムを作成することが必要とされており、これを基に区が随時チェックをすることができると。また、実費徴収については、現在は徴収するほど高価な材料を使っていないので徴収していない。実費を伴う事業参加については、利用者が実費を支払うのなら参加しないという意思表示を

されるだろうとの認識はある。この対応策について委託法人と検討をしているが、最終的には利用者の意思を尊重しながら自己実現を目指し、積極的な創造的活動やレクリエーションへの参加を促すよう努めていきたい、との答弁がありました。

さらに、自立支援サービス事業について、自立判定を受けた総数の割合から考えると、通所介護サービスは1日15名の規模で運営できるのか。また、デイサービス利用の要求は非常に高いと考えられるが、利用者が欠席した場合、経費的にみても運営が厳しくなるだろう。この場合、他の利用希望者を登録しておき、その方が代わりに利用できるような仕組みはないのか、との質疑に対し、

「デイサービス事業については、全国的な統計からみても定員の7割程度の参加者である。欠員が生じたことに伴う、登録制による他の利用者の利用については、介護保険法との整合性を精査し、開設までに調査研究し、委員会に報告する、との答弁がありました。

その他の議案の審査についても、精力的に審査を行いました。

地域文教環境委員会

委員会では「千代田区区民会館条例の一部を改正する条例」をはじめ4件の議案の審査を行いました。

「千代田区一般廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例」は、テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機の「家電4品目」の廃棄を抑制し、再商品化を促進するための「特定家庭用機器再商品化法」(いわゆる「家電リサイクル法」)が平成13年4月1日から全面的に施行されることにより、区による粗大ごみ収集の対象から家電4品目を除外するため、条例の一部改正を行い、平成13年4月1日から施行するものです。家電リサイクル法施行後消費者には従来の粗大ごみ手数料の負担に代えて再商品化等に要する経費と指定引取場所までの収集・運搬に要する経費の負担が求められ、家電小売店とメーカーには引取義務が生じます。また引取りの対象とならない一部の家電製品については一般廃棄物処理業者による受け皿を整備する必要があり、区が協議中です。

主な質疑は次のとおりです。
今後のリサイクルの展開について、家電4品目以外の製品についても、再商品化を促進する対象が拡大される見通しはあるか、との質疑に対し、今後のリサイクル対象品目の拡大の動向として、

家電製品では乾燥機、また家電リサイクル法と法体系は異なるが、パソコンをはじめ、建設資材、生ごみ等までリサイクルが義務づけられる方向での動きがある、との答弁がありました。

また、収集・運搬にあたり、消費者が直接、中間集積所に搬入する場合には、料金はどのようになるか、さらに、粗大ごみの手数料では、規格やサイズによって手数料が分かれていたが、リサイクル料金は大きさに関わらず同一料金となっているのはなぜか、との質疑に対し、

消費者が中間集積所に直接搬入するような場合には、収集・運搬に要する経費が安くなる。また、リサイクル料金は各メーカーが最も合理的に処理した場合の経費に相当するもので、利便性を考慮し、複雑な区分を設けないようにしたものと考えられるが、その積算の根拠や規格・サイズによって分けなかった理由は、明らかにしていない、との答弁がありました。

これに対し、情報公開の流れの中で、区の政治姿勢としてリサイクル料金等の根拠を明らかにしていくべきである、との指摘があり、今後、各自治体側からもメーカー団体等に対してリサイクル料金等に関する情報開示を求めていく動きがある、との答弁がありました。

また、受け皿となるシステムを整備するにあたって、自治体側からの経費負担はあるか、との質疑に対し、受け皿となるシステムは、あくまでも民間の処理業者がつくるシステムであり、区による費用負担は一切ない、との答弁がありました。

さらに、今回の法律が施行されるにあたって、国等の関係機関に対し、区からどのような働きかけを行っているか、との質疑に対し、区長会からの要望事項として、平成13年度の国の施策に向けて、

消費者に対するリサイクルシステムの周知・PR、不法投棄の未然防止と不法投棄された物の処理が自治体の負担にならないよう、適正排出の周知徹底、法施行後早期に、法適用となる家電製品の対象範囲の拡大の検討、の3点を要望した。

また家電リサイクル法の附則に、法施行5年後の見直しの検討が規定されていることから、今後施行後における改善点、問題点を把握し、自治体や区民の立場から国やメーカー等に対し働きかけしていく、との答弁がありました。
その他の議案の審査についても、精力的に審査を行いました。

特別委員会

自治権拡充・行財政改革特別委員会

委員会では、自治会館(仮称)建設に伴うスケジューリングと関連する諸課題について報告を受けた後、区民の要望を反映した施設建設に向けて活発な議論を行いました。

また、二団体(財団法人)特別区協議会、特別区人事厚生事務組合の見直しに関連して、特別区議会議長会事務局の構成・人員配置等について報告がありました。

商工業活性化対策特別委員会

委員会では、これまでの各分科会の活動報告として、各分科会長から分科会における議論や検討状況の報告を受けました。第一分科会「各種催し物の活用」、第二分科会「かながわ県民活動サポートセンター視察」、第三分科会「まちづくり三法、規制緩和」のそれぞれのテーマについて報告を受けた後、さらに委員同士による議論を行いました。

子育て環境整備特別委員会

委員会では、「幼稚園・保育園の連携のあり方を考える懇談会」のまとめを基本に、幼稚園・保育園の連携に関する課題を制度比較や連携に関する事例等の観点から議論を行いました。

まちづくり特別委員会

委員会では、秋葉原地域開発について、都の「秋葉原地区まちづくり推進検討委員会」の検討状況や地元への周知等及び飯田橋地域開発スケジュール、有楽町駅前地区第一種市街地再開発事業についての報告がありました。

また、神保町一丁目南部地区市街地再開発事業について、行政を仲立ちとした開発組合と対策協議会との三者懇談会の状況について報告がありました。

保健福祉委員会が特別養護老人ホームの視察を実施

保健福祉委員会は11月9日に東京都東久留米市にある特別養護老人ホーム「けんちの里」の視察を実施しました。視察では、施設の概要や運営の理念、方針及び介護保険導入後の施設運営の状況など具体的な説明を受けた後、施設の視察を行いました。

まちづくり特別委員会が神保町一丁目南部地区市街地再開発事業の視察・懇談会を実施

まちづくり特別委員会は11月10日に神保町一丁目南部地区市街地再開発事業の視察を実施しました。視察では、再開発事務所において現況等の説明を受けた後、東西両街区の周囲をまわり、仮営業状況や交通状況等の視察を行いました。
また、12月18日には神保町一丁目南部地区市街地再開発事業に関して、地元関係者との懇談会を実施しました。

12月25日に3常任連合審査会・全員協議会を開催

3常任連合審査会では、本区における将来像である「第三次長期総合計画基本構想素案(修正案)」について、これまでの議論を踏まえた修正点の質疑を行いました。
また、全員協議会では、千代田区実施計画「重点事業」(案)について、重点事業に対する指摘事項の説明や変更点等の報告があり、活発な議論を展開しました。

平成12年第4回定例会

会議日程(会期10日間)

月・日	会議名	主な内容
11・29	本会(初日)	・会期の決定 ・区長の招集挨拶 ・代表質問(3議員)
11・30	本会(継続会)	・一般質問(5議員) ・議案の上程・付託
12・1	常任委員会	・付託議案の審査等
12・4	3常任連合審査会	・第三次長期総合計画
12・5	常任委員会	・付託議案の審査等
12・6	特別委員会	・付託議案の審査等
12・7	常任委員会	・付託議案の審査等
12・8	本会(継続会)(最終日)	・議案の議決等

関係機関に提出した 意見書及び要望書(全文)

私学助成の拡充を求める意見書

東京都における私学依存度は他府県と比べ高く、学費など父母負担と教育条件の公民格差を是正する私学助成の充実、教育の発展に欠かせない課題となっております。

東京都では、こうした状況や多くの都民の要望に応え、私学助成の充実に努め、私立学校の経常費補助は公立学校の教育費をもとに算出した「標準的運営費」の2分の1補助を実現してきました。平成9年の「財政健全化計画」における私学助成の見直しの際は、制度的には堅持されましたが、算定方法の見直しが行われたため、85億円の減額措置が現在進行中であり、これ以上の私学助成の一律削減は私学教育にとって深刻な問題となるおそれがあります。

長びく不況の中、私立学校の初年度納付金や学費などは父母にとって重い負担となっており、私学をめぐる環境はますます厳しいものとなっております。こうした状況に加え、少子化の進行は私立学校の存立に関わる重大な問題となっており、私学助成の充実が求められています。

児童・生徒の教育に寄せる保護者の期待が高まるなかで、東京都の教育において、私学の果たす役割は今まで以上に高まることも予想されます。

よって千代田区議会は、東京都に対し、私学助成の拡充を図るため左記の事項を実施するよう強く求めるものであります。

記

- 1 私立学校経常費における標準的運営費の2分の1補助制度を堅持すること。
- 2 私立学校の父母負担軽減と教育条件改善のため、私学助成の一層の充実を図ること。

(東京都知事に提出)

東京地方・高等裁判所の裁判官の増員を求める意見書

社会の高度化・国際化が急速に進む中、わが国では民事・刑事の訴訟事件等が著しく増大し、内容も複雑・多様化しています。また、近年の規制緩和に伴う自由競争社会の進展により、個人の自己責任はますます重くなっています。こうした状況から、訴訟等を適正かつ迅速に解決するため、透明性ある公正なルールに基づいた司法機能の一層の充実が求められています。

しかしながら、東京など大都市の地方裁判所、高等裁判所の民事裁判官が担当している訴訟事件数は

膨大な数にのぼり、裁判官に過重な負担となっております。こうした問題は裁判官の数が少ないため、1人あたりの担当事件数が多いことに起因していることは明らかです。

このため、裁判の過程において十分な審理を受けることが困難で、裁判の長期化を招くなど、住民の適正かつ迅速な裁判を受ける権利に大きな影響を与えています。

よって千代田区議会は、政府に対して民事・刑事の訴訟事件を適正かつ迅速に解決するため、訴訟事件数に見合った東京地方・高等裁判所の裁判官の増員を強く求めるものであります。

(内閣総理大臣・法務大臣に提出)

秋葉原駅電気街口周辺の防犯対策の強化を求める意見書

千代田区の秋葉原周辺地域は、JR秋葉原駅及び営団地下鉄日比谷線の中心に位置し、営団地下鉄銀座線、都営地下鉄新宿線が近接した交通の利便性の高い地域です。また、世界でも類を見ない大規模な電気街で、近年のIT革命の影響などにより、国内外から毎日多くの買い物客が訪れる活気に満ちた地域です。

平成17年度には常磐新線の開業が予定され、旧神田市場跡地及び日本鉄道建設公団国鉄精算事業団本部用地を中心とした秋葉原地域全体の再開発事業も推進されており、事業終了後には大幅な居住者・利用者の増加が見込まれております。また、平成10年には、21世紀のアキバをつくる千代田区民大会」を実施し、秋葉原地域の再開発にあたっては、地域の意向を反映したまちづくりをめざし、東京都等に対して地元との協議を行うよう要請してきたところです。

このような状況の中で、人々の活動が多様化し、終夜営業の店舗が増加するなど地域の生活環境は大きく変化しており、事故や犯罪が多発するなど、地域の安心・安全が脅かされております。

これに対し、区民・町会・商店街組合等を中心に自主防犯活動や、地域コミュニティでの近隣警戒など防犯活動を積極的に推進しております。しかし、犯罪が凶悪化する傾向の中で、真に安全で住みやすい街づくりを進めるためには、区民だけの力では限界があります。

よって千代田区議会は、東京都に対し、区民が安心して生活できるよう、警察官による秋葉原電気街口周辺のパトロールを増やすなど、具体的ななかたで防犯対策を強化するよう強く求めるものであります。

(東京都知事に提出)

「同趣旨の要望書を警視総監に提出しました」

議案の審議結果と主な内容

今定例会では、議員から提出された議案6件と区長から提出された議案10件の審査が行われました。

議員提出の議案

可決した意見書

私学助成の拡充を求める意見書

東京地方・高等裁判所の裁判官の増員を求める意見書

秋葉原駅電気街口周辺の防犯対策の強化を求める意見書

秋葉原駅電気街口周辺の防犯対策の強化を求める要望書

否決した意見書

介護保険制度の改善を求める意見書

低所得の高齢者のために、介護保険料と利用料の負担を軽減する都独自の助成制度を創設することを求める意見書

区長提出の議案

条例

千代田区議会議員及び区長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

公職選挙法の一部を改正する法律の施行により規定を整備します。

職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例

中央省庁等改革により、引用する大臣名等を改めます。

千代田区区民会館条例の一部を改正する条例

千代田区区民会館(九段上、飯田橋)の廃止および区民館として新たに富士見区民館(九段上集会所及び飯田橋集会所を含む)を設置します。

千代田区青少年問題協議会条例の一部を改正する条例

中央省庁等改革により、規定を改めるほか、委員定数を改めます。

千代田区立高齢者在宅サービスセンター条例の一部を改正する条例

西神田高齢者在宅サービスセンターを設置するため、規定を整備します。

千代田区一般廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例

特定家庭用機器再商品化法の一部施行により、特定家庭用機器廃棄物を区長の収集対象からはずすため、規定を追加します。

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

社会経済事情の変化により、職員の給与を改めるほか、規定を整備します。

幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

社会経済事情の変化により、幼稚園教育職員の給与を改めるほか、規定を整備します。

区管水道橋住宅新築工事の請負契約について

契約金額 5億9,745万円 (賛成全員で可決)

本会議での陳情の審査結果

採択

私学助成の拡充を求める意見書採択に関する陳情

東京地方・高等裁判所の裁判官の増員に関する意見書の採択を求める陳情

「周辺有事」の際に予想される米軍による協力要請に対して地方自治体の原則的態度の確立を求める陳情

全国一律最低賃金制の法制化を求める国への意見書採択の陳情

秋葉原電気街口(秋葉原駅交通広場付近)に交番の設置を求める陳情

国民の食料と地域農林水産業を守るため、政府への意見書提出を求める陳情

東京通信病院ひまわり育児室に対する助成金増額に対する陳情

委員会に送付した陳情

秋葉原電気街口(秋葉原駅交通広場付近)に交番の設置を求める陳情

国民の食料と地域農林水産業を守るため、政府への意見書提出を求める陳情

東京通信病院ひまわり育児室に対する助成金増額に対する陳情

「同趣旨の要望書を警視総監に提出しました」

メールアドレス ckugikai@mint.ocn.ne.jp

ホームページアドレス http://www.city.chiyoda.tokyo.jp

千代田区議会の 情報公開のお知らせ

千代田区議会では、昨年11月1日から千代田区議会情報公開条例を施行しています。この条例に基づき開示請求は、区役所7階の区議会事務局をはじめ、郵送、ファクシミリ、電子メールで受け付けています。公文書開示請求書は、ホームページに掲載していますので、ぜひご利用ください。

公文書の閲覧
本会議の会議録や委員会の記録、録音テープ等公文書は、情報提供としてみなさんが区議会事務局で自由に閲覧することができます。閲覧は無料です。
公文書の写しの交付
公文書の写しの交付は、区議会事務局と郵送に限らせていただきます。写しの交付には、別途実費用がかかりますので、「ご承ください。」(郵送には別途郵便料金がかかります。実費用については、減額となる場合がありますので、お問い合わせください。)

写しの交付費用
・コピー(A3まで)または印刷物(A4まで) 1枚につき10円
・録音テープ 1本につき200円
・ビデオテープ 1本につき500円
・フロッピーディスク(35インチ2HDまたは2DDのみ) 1枚につき60円
テープ・フロッピーディスクは区議会でご用意します。

請求・問合せ先

千代田区議会事務局調査係
〒102-8688 千代田区九段南1-6-11
電話 3264 0151 内線 3315
ファクシミリ 3288 5920
電子メールアドレス ckugikai@mint.ocn.ne.jp
千代田区ホームページアドレス
http://www.city.chiyoda.tokyo.jp



みんなステキ!

区議会を傍聴してみませんか

区議会では、区民のみなさんの生活に関わるさまざまな問題について活発な議論を行っています。本会議をはじめ、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会等はどこでも傍聴することができます。

傍聴するためには

本会議を傍聴される方は、あらかじめ区役所7階の区議会事務局で、傍聴人受付簿に住所・氏名をご記入のうえ傍聴券をお受け取りください。傍聴席は区役所の9階になります。

「委員会」

委員会を傍聴される方は、委員会の開催当日、直接区役所8階の委員会室で、傍聴者名簿に住所・氏名をご記入のうえ、傍聴してください。

なお、委員会開催日程の詳細については、区議会事務局までお問い合わせください。また、定例区議会会期中は、ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

本会議や委員会は、議会運営上のさまざまな理由によって、開会時間が遅れることがあります。

区議会を傍聴して

傍聴者アンケートから

区議会には、多くの方が傍聴に訪れます。本会議や委員会を傍聴される方には、区議会のことや区議会だよりに関するアンケートをお願いしています。お寄せいただいたアンケートから、主なものの要旨をいくつか紹介させていただきます。

本会議について

- ・本会議、委員会とも、定刻に開始して、効率よく運営してほしい。もっとスピーディーに問題を処理してほしい。
- ・前回傍聴した際より幾分静かな雰囲気だったとは思いますが、やはり耳障りな私語がかなり聞こえる。質問に正確に答えていると、言いにくいケースがある。また、答えているとしても、あまりに抽象的・教科書的、定型的な印象を受ける。
- ・同じような質問に同じような答。もっと違ったことを。

・答弁は曖昧で何を答えているのか意味不明。全く質問に答えていない場合も多い。このような答弁を続けていけば、傍聴者はいなくなると思う。誰

千代田区への視察状況(平成12年)

千代田区には、区議会を通じ、県議会をはじめ、各区市町村議会から、調査・研究のため、さまざまな目的をもって視察に訪れています。平成12年には20の議会等が訪れました。

月 日	議 会 名	視 察 事 項	視 察 施 設 等
2月24日	北海道札幌市議会	複合施設の運営等	ちよだパークサイドプラザ
3月 1日	愛媛県新居浜市議会	複合施設の運営等	昌平童夢館
4月11日	特別区文教委員長会	幼・保一元化等	和泉幼稚園 いずみ保育園
5月12日	埼玉県杉戸町議会	幼・保一元化等	和泉幼稚園 いずみ保育園
5月18日	東京都杉並区議会	幼・保一元化等	和泉幼稚園 いずみ保育園
5月31日	富山県議会	複合施設の運営等	昌平童夢館
7月10日	沖縄県那覇市議会	複合施設の運営等	西神田コスモス館 神保町ひまわり館
7月18日	福岡県北九州市議会	複合施設の運営等	ちよだパークサイドプラザ
7月25日	大阪府池田市議会	公共施設の適正配置等	和泉幼稚園 いずみ保育園
9月 6日	群馬県嬬恋村議会	区議会の概要等	(区議会事務局)
9月14日	愛知県名古屋市会	教職員の研修制度等	(教育委員会)
9月19日	東京都港区議会	幼・保一元化等	和泉幼稚園 いずみ保育園
10月17日	福岡県久留米市議会	中高一貫教育 魅力ある街づくり	(教育委員会) (都市整備部)
10月19日	青森県青森市議会	複合施設の運営等	昌平童夢館
10月19日	高知県高知市議会	議会の情報公開等	(区議会事務局)
10月25日	富山県婦中町議会	議会の情報公開等	(区議会事務局)
10月25日	大阪府枚方市議会	複合施設の運営等	昌平童夢館
11月13日	愛知県安城市議会	SOHO支援の取り組み等	(都市整備部)
11月21日	大阪府田尻町議会	行政改革等	(企画部)
11月22日	愛媛県今治市議会	行政改革等	(企画部)

のための議会なのか。
の答弁者の声が人によって聞き難い。何か工夫はないか。大きい声で答弁してほしい。
傍聴席のスピーカーは大変聞き取りにくいので、もっと聞き易く改善してほしい。
発言通告書をもらい、各議員の質問事項がよく分かり、傍聴している者にとって分かりやすかった。現代社会の問題点がほとんど凝縮された内容だった。全国に先駆け、これらの問題を住民の参加と関心を得ながら前向きに検討し、解決してほしい。
女性一人で傍聴席に入るのに勇気がいると思った。女性が自分の区のことにもっと関心を持ったらと思う。女性の地位向上に役立つと思う。傍聴して区政が身近に感じた。介護、福祉のこともわかった。今度は委員会も傍聴したいと思った。

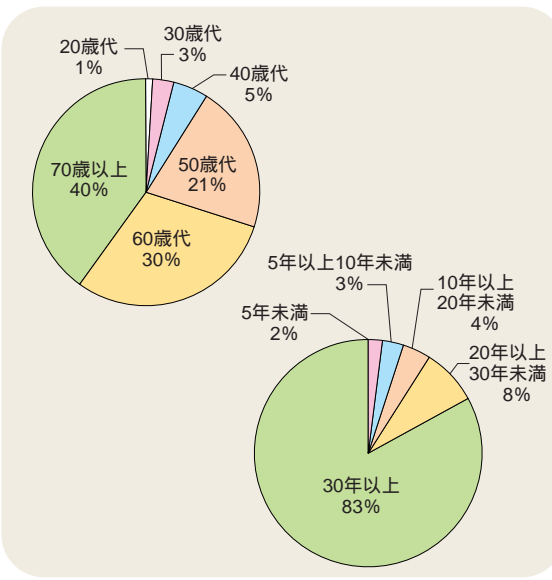
・事前に発言通告書のコピーをもらい、議会進行内容がわかりやすく、とてもよいと思う。
・介護の質問は有意義だった。本日は来てよかった。私どもが一番身近な議員なので親しみを感じた。いろいろなことを討議していることがわかった。
委員会について
・委員配布の資料を持ち帰ることはできないのか。区議会だよりについて
・区民でないが、仕事の関係もあり、毎日興味深く読んでいます。
・読みやすくなった。
・編集が綺麗なので内容が読みやすく把握しやすいように思う。また写真も多く、楽しい。
・陳情等、採択・不採択をもっと丁寧に書いてくれると理解しやすいと思う。

《都心6区区民大会アンケート結果》

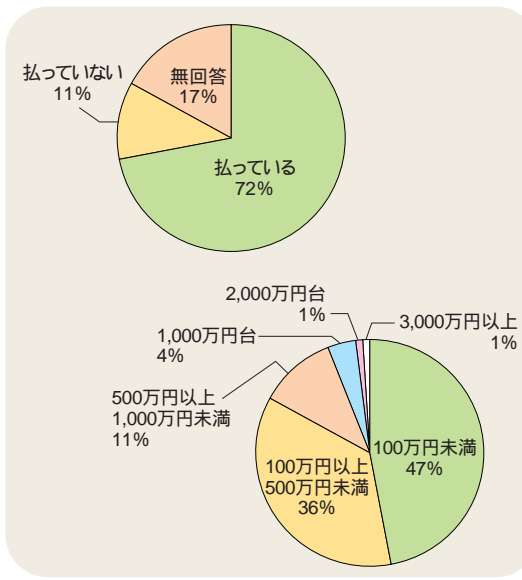
昨年10月20日、『21世紀も住み働き続けたい私たちのまちに 実現しようみんなの願い』をスローガンに、千代田区・中央区・港区・新宿区・文京区・台東区の住民、区議会、区が共同で「固定資産税・相続税の大幅軽減を求める都心6区区民大会」を開催しました。

当日会場に参加者の皆さんにご協力をいただきました。アンケートの調査結果の概要を紹介いたします。

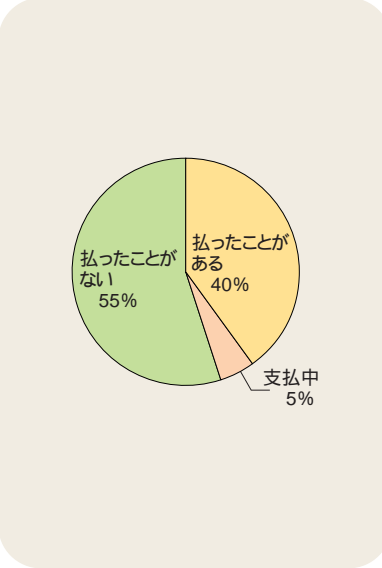
(大会参加者95名中、アンケート回答者323名)
アンケートにご回答いただいた方の年齢層を見ると、70歳以上が40%、続いて60歳代、50歳代の順になっています。また、83%の方が30年以上、現在の地域に住んでいると答えています。



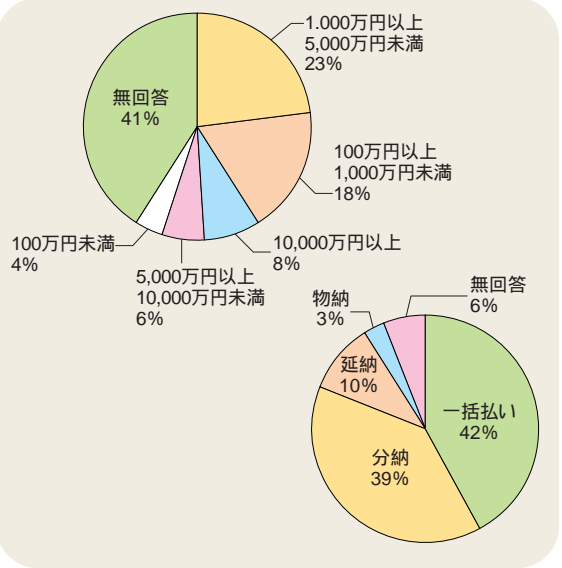
固定資産税は72%の方が払っていると答えています。納めた金額は、100万円未満が47%と最も多く、続いて100万円以上500万円未満36%、500万円以上1,000万円未満11%の順になっています。



相続税は、払ったことがある、支払中を合わせて45%となっていますが、55%の人は払ったことがないと答えています。



相続税を納めた金額については、1,000万円以上5,000万円未満が23%で最も多く、続いて100万円以上1,000万円未満が18%となっています。さらにその支払方法は、一括払いが42%、分納39%、延納10%、物納3%となっています。



次にアンケートで寄せられた、様々な感想や意見(千代田区民のみ)の中の一部をご紹介します。

- ・これだけ多数の人が集まる熱気ある大会はない。それだけ切実な問題なのだ。
- ・大変有意義な大会であった。継続して開催されることを望む。
- ・減税実現に一層の努力をお願いする。
- ・ささやかな住民運動であるが、都市部住民の声を中央政府に届けるように、これからも頑張ってもらいたい。

固定資産税について

- ・高すぎる。生活に支障がある。
- ・毎年払う税額の大きさに実感としてその重さに、都心に住む希望を失う。
- ・土地税制の再度の見直しをしてほしい。
- ・地価の下落が続いているのに、税額に反映されていない。負担が多すぎる。
- ・住宅部分については、全国同一にしてほしい。

相続税について

- ・生活最低限を確保できる税金に。
- ・自社の相続に関しては、額面にしてほしい。
- ・家族が現在地で住めなくなり、仕事が続けられなくなる。何処かおかし。遺族や従業員の生活が脅かされる事はないよう措置してほしい。

大会会場では、アンケート調査にご協力いただきまして、本当にありがとうございました。

ここでご紹介したものは、アンケート結果のごく一部です。詳しい内容をお知りになりたい方は、区議会事務局をご覧ください。

区議会では、皆さんからの切実な声を集めた貴重なアンケート結果を参考にさせていただきます。区民の皆さんや区とともに、引き続きこの問題に取り組んでまいります。皆さんの一層のご協力をお願いいたします。

平成13年第1回定例区議会開催

平成13年第1回定例区議会は、3月上旬から開催する予定です。区民の皆さんの傍聴をお待ちしています。日程等の詳細は、後日ホームページに掲載します。

写真・イラストを募集!

区議会広報委員会では、ちよだ区議会だよりに掲載する写真・イラストを募集しています。テーマは自由です。風景やお子さん、お孫さんの写真・イラストなど、みなさんの自信作をお待ちしています。

掲載させていただいた方には、図書券を差し上げます。



どう? ぼくのダンス

編集後記

新しい21世紀の幕開け。いつになく、新たな気持ちで、だよりの編集に力を注いでいきます。親しまれる議会の広報紙を目指して! みなさんからの声をお寄せください。(戸張)

アンケートを区議会だよりに掲載している区は千代田だけです。皆さんの声を区議会の運営にも役立て、今年も開かれた議会の一翼として広報委員も活動します。(竹田)

輝かしい新年を迎え、今年は基礎的自治体としての評価が問われる大切な年となりました。いつも区民の皆様の視点を忘れず、わかりやすい内容でお届けして参ります。(桜井)

女性一人で傍聴席に入るのに勇気がいるとの声がアンケートにありました。構造からしてそうかもしれません。議会を一階にも参りませんが今世紀議会をもっと身近な所に!!(小枝)

新しい年の始まり今年も一杯仕事をします。傍聴された皆様からの様々な声に、一つ一つお応えできるように、改善・工夫・実行する区議会であるよう努力していきます。(松本)

昨年11月、区議会で初めて情報公開条例が施行され、議会活動が身近な情報としてお知らせできるようになりました。"だより"が更に親しまれる広報となるよう取り組みます。(山田)

写真選びも広報委員会の楽しみの一つです。いよいよ二十一世紀。今回は、新しい時代の担い手となる子どもたちの写真いっぱい"だより"です。(木村)

掲載した写真をさしあげます。詳しくは区議会事務局まで